

都市再生整備計画 事後評価シート
アイランドシティ地区

平成30年11月

福岡県 福岡市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県		市町村名	福岡市		地区名	アイランドシティ地区		面積	191.8ha			
交付期間	平成26年度～平成30年度		事後評価実施時期	平成30年度		交付対象事業費	571百万円	国費率	0.45				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【道路】車道・歩道・電線共同溝整備 【公園】グリーンベルト 【地域生活基盤施設】まちかど広場 【高質空間形成施設】沿道緑化										
		提案事業	【事業活用調査】事業効果把握調査(アイランドシティ地区内)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		提案事業	-			-			-				
	新たに追加した事業	基幹事業	【地域生活基盤施設】情報板			アイランドシティ整備進捗に伴う来訪者増が見込まれることから追加			-				
		提案事業	-			-			-				
	交付期間の変更	当初	平成26年度～平成30年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-					
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	みどり率	%	7.7	H25	11.7	H30	モニタリング	評価値	○	あり	グリーンベルト整備や沿道緑化等により地区内の緑化は計画的に進められており、みどり率の向上につながっている。	H31年度
	指標2	居住人口	人	5,216	H25	8,300	H30	-	9,455	○	あり	住環境整備や公園・道路等の社会基盤の充実に伴い、居住人口は着実に増加しており、平成29年度時点で既に目標値を上回る結果となっている。	H31年度
	指標3	公民館利用者数	人/年	41,617	H24	64,200	H30	-	64,557	○	あり	公民館利用者数は増加傾向にあり、目標値を達成する見込みとなっている。	H31年度
	指標4	1日あたりの歩行者自転車交通量	人・台/12h	4,500	H25	5,000	H30	-	5,430	○	あり	居住人口の増加や歩行環境の改善・向上に伴い、歩行者・自転車交通量は増加からやや横ばい傾向にあるが、目標値を達成している。	H31年度
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
	その他の数値指標4												
4)定性的な効果発現状況													
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	-		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-					
	住民参加プロセス	住民参加型のイベントとして、「一人一花運動inアイランドシティ」を実施した。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				今後は、同様のイベントを地域が主体となって継続できるよう支援する。					
持続的なまちづくり体制の構築	-		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-						

様式2-2 地区の概要

アイランドシティ地区(福岡県福岡市) 都市再生整備計画の成果概要									
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値		評価値			
大目標: 都市活力の向上に挑戦するグリーンアイランドの創造	みどり率	単位:%	7.7	H25	11.7	H30	12.3	H30	
目標1 環境共生を実感できるまちづくり	居住人口	単位:人	5,216	H25	8,300	H30	9,455	H30	
目標2 活力あるコミュニティを創造し、誰もが安全で安心して暮らせるまちづくり	公民館利用者数	単位:人/年	41,617	H24	64,200	H30	64,557	H30	
目標3 官民共働による良質な住環境のまちづくり	1日あたりの歩行者自転車交通量	単位:人・台/12h	4,500	H25	5,000	H30	5,430	H30	

■道路:車道・歩道・電線共同溝整



■地域生活基盤施設:まちかど広場



■高質空間形成施設:沿道緑化





■基幹事業 公園(グリーンベルト)

○関連事業 住宅市街地総合整備事業

○関連事業 分かりやすいサインの設置

○関連事業 環境共生推進事業

□提案事業 事業効果把握の調査

凡例

- 基幹事業
- 提案事業
- 関連事業

■公園:グリーンベルト



■地域生活基盤施設:情報板



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> グリーンベルトの整備や沿道緑化により、地区内の緑の増加に寄与することができた。今後は、緑豊かで潤いのある住環境の創出を目指し、より一層の緑化整備の推進が望まれる。 都市再生整備計画事業をはじめとした環境共生推進事業、地区内の緑の増加等といった良好な住環境整備により、居住人口の増加に寄与することができた。 情報板の設置により公民館の分かりやすさの向上が図られ、地域活動の活性化に寄与した。今後は、地域コミュニティの形成を図る観点から、公民館の利用に留まらず、グリーンベルトを活用するなど、まちづくりに対する住民の参加意欲を支援する取組みの推進が望まれる。 沿道緑化や情報板、まちかど広場等、歩行者に優しい環境整備により、歩行者自転車交通量の増加に寄与することができた。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、グリーンベルトの整備や沿道緑化の継続的な実施により、美しい街並み景観と緑豊かな潤いのある住環境整備を推進する。 居住人口については目標値を上回る増加が見られるため、計画居住人口である18,000人を目指し、今後も良好な住環境整備等を推進する。 新しい街であることから地域コミュニティの形成が図りにくい環境であるため、公民館の利用促進に向けたソフト施策等の検討に加え、コミュニティ活動を支援する場としてのグリーンベルト整備などを推進する。